

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 年 月 日

P T A名		静岡県立沼津特別支援学校 愛鷹分校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	45名				

1. 使用状況

寄贈物品名	ボッチャコートシート
使用学年及び人数	全学年
使用頻度	学期に一回
使用状況	PTA主催の親睦活動として、ボッチャ大会を開催したり、併置する沼津城北高校との共生教育の一貫として、使用している。
物品の使用による変化や効果	従来のボッチャ活動では、会場設営のたびにラインテープを用いてコートラインを引く作業が必要だった。これには多くの時間を要し、また時間の経過とともにラインがずれるなど、競技に集中しづらい要因となっていた。また、公式競技に近い本物のコートを使用できるようになったことで、生徒たちは「本格的なスポーツに取り組んでいる」という認識を強くもつことができ、競技に対する生徒の意欲が飛躍的に高まり、活動全体が大きなもりあがりにつながっている。
今後の活用の見通しや課題	環境改善は、単なる準備の効率化に留まらず、生徒の学習に対する姿勢や意欲そのものを高める上で非常に有効である。今後は、さらに活動の場をひろげ、地域の方々と交流で活用していきたい。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子



沼津城北高校とのボッチャ交流シートを使用することで、臨場感が高まって盛り上がった

